

## 事業の目的

高能力の種豚への更新を促進し、生産性向上の取組を加速化するとともに、県域や地域における指導体制を強化し、県内養豚農家の飼養管理技術の高位平準化を支援する。

また、作業集約型の生産方式の導入や、畜舎周辺に悪臭が拡散しないよう適切な臭気低減等の取組を支援する。



## 目指す姿

本県の養豚業は中小規模の農家が多く、環境問題などから規模拡大に制約があるため、現状の経営資産を最大限活用し、生産性の向上による所得の向上と、労働条件や環境に配慮した取組の推進により、持続可能な養豚経営の確立を目指す。

### 【第3期ながさき養豚振興計画 KPI】

|            |         |   |                  |   |           |   |       |
|------------|---------|---|------------------|---|-----------|---|-------|
| 【基準】 H 3 0 | 16,610頭 | × | 21.5頭            | × | 33,726円/頭 | = | 120億円 |
| 【目標】 R 7   | 16,800頭 | × | 25.0頭            | × | 34,960円/頭 | = | 147億円 |
|            | 母豚飼養頭数  |   | 母豚1頭当たりの年間肉豚出荷頭数 |   | 販売単価      |   | 産出額   |

母豚1頭当たりの年間肉豚出荷頭数

## 事業の概要

### 1. 生産性向上推進（10,953千円）

○ 高能力の種豚への更新や指導体制の強化による養豚農家の飼養管理技術の高位平準化の取組を支援。

#### ① 高能力種豚導入支援（補助）

補助内容：高能力の種豚への更新にかかる経費の一部を助成  
 補助率：3分の1以内 ただし、上限 原種豚 100千円/頭、種豚 26千円/頭  
 ※ 一腹当たりの生存産子数が13.0頭以上の能力を有する多産系母豚

#### ② 生産性向上推進（推進事務）

養豚振興ワーキングチームや地域養豚研究会において、技術的なデータ等の収集・分析、処方箋の作成、改善事例集の作成、グループによる勉強会の開催等により養豚農家の横のつながりを深めるとともに、ICT機器の先進技術の導入等を推進。

母豚 200頭規模で、  
**母豚 1 頭当たりの肉豚出荷頭数**  
 22.8頭（R元実績）  
 →**25.0頭**（R7目標）へ向上すると、  
 7,300千円程度の所得増



### 2. 生産方式等改善支援（2,000千円）

○ 計画的休日取得が可能となる作業集約型生産方式の導入やICT機器の導入、臭気低減等の取組を支援。

#### ① 生産方式改善支援（補助）

補助内容：効率的な飼養管理ができる生産システムの導入やICT機器の導入のための畜舎補改修にかかる経費の一部を助成  
 補助率：3分の1以内 ただし、上限 1,500千円/取組主体

#### ② 臭気低減対策支援（補助）

補助内容：臭気低減対策（遮へい壁、散水ノズル、排水溝へのふたの設置、樹木の植栽など）にかかる経費の一部を助成  
 補助率：2分の1以内 ただし、上限 500千円/取組主体



県内養豚農家の飼養管理技術のレベルアップ！

## <事業の流れ>



## <事業推進スケジュール>

